

事業者における放課後等デイサービス自己評価表（公表）

評価の実施時期 令和4年1月

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール小岩教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			お子様がわかりやすく、ソーシャルディスタンスが取れるよう、机とマットの配置を工夫しています。	法令を遵守しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			出勤する職員は体温測定を行い、消毒、手洗い・うがい、マスクの着用を徹底しています。体調不良の職員が出た場合は代わりを立て、適正な配置に整えます。	法令を遵守しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事故なく安全に過ごせるよう、環境設定するようにしています。	入口やトイレが狭いため、車椅子での利用が難しく、利用できるお子様の幅を狭めてしまっているという側面があります。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			常勤のみでの社員会議、非常勤を交えての全体会議とケース会議を毎月実施しています。	勤務する曜日や日数が不規則な非常勤の先生方との、情報共有が課題としてあります。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				毎年、実施しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				毎年、HPで公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	「第三者評価機関」の評価は実施していません。	外部の評価は積極的に取り入れていけるようにします。
	⑧	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			今年度は「学習支援シニアサポーター」、保育士の資格を取得した職員が3名います。	今後も資格取得の際に学んだ内容は、ケース会議で伝達し、実践に生かせるようにしていきます。
適切な支援	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			情緒特性、障害特性、認知特性、学力水準の観点からアセスメントを行います。そのほか、日々の行動観察からお子様の行動の原因を検討し、それにあった支援計画を考えています。	アセスメントは日々行っていく必要のあるものなので、とくに記録やミーティングでの情報共有を強化していきます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールはないので、外部で行った検査結果は保護者の方からいただくようにしています。	現状、ツールはありませんが、特性ごとにアセスメントを行っています。検証と支援方法の立案に日々取り組んでいます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ベースになる課題内容は、教材準備の担当指導員が中心に、児童発達支援管理責任者と必要に応じて相談しながら用意します。また、毎日の打ち合わせに加えて、毎月職員全体での会議を行い、プログラムの検討をしています。	その課題が準備されている意図が、全体により周知されるよう、会議や記録での情報共有を行います。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			学習プログラムは、毎回個々のニーズに合わせて課題を準備しています。	日々のアセスメントの視点をもってお子様に関わることで支援内容も変わってくる、という意識を職員全員が持っていけるよう、児発管が中心となり方向性を打ち出していきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日と休日で時間割を決めて活動しています。	とくに休日は長い時間の利用になるので、活動にメリハリをつけていけるようにしていきます。

の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			学習は個別活動メインで、遊びを通して療育は集団の中で表れる課題を目標に設定しています。	今後も継続していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、ミーティングを行っています。前回の様子を振り返ったり保護者からの連絡を共有したりします。	個別支援計画にある個々の目標を意識しながら、その日気を付けることや達成したい課題などについて共有できるようにします。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		送迎業務があるため、終了後の打ち合わせはできませんが、記録には気づいた点等を残すようにしています。	送迎業務があるため、終了後の打ち合わせはせずに次の日に行っています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			hugを利用し、全職員が記録を共有できるようにしています。	記録が書ける=目にした行動を分析できる、ということでもあるので、やはりアセスメントスキルの向上は常に目指していきたいです。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年ごとに全職員で目標の見直しを行っています。	今後も継続します。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			子供たちの意思を尊重するシーンを作りながら、小集団での活動や個別の学習支援、創作活動や余暇活動を提供しています。	今後も継続します。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉔	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			管理者兼児童発達支援管理責任者が参加しています。	今後も継続します。
	㉕	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			年度の初め学校、すすくすくスクールに指導員の顔写真と送迎車の写真をお渡ししています。	今後も継続します。
	㉖	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		対象になる児童はありません。	対象になる児童はありません。
	㉗	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		ご家庭より「就学支援シート」のご提出を必要に応じていただいています。	対象になる児童はありませんが、新1年生を1学期から受け入れる場合は行っています。
	㉘	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		教室での課題の進捗状況を資料としてまとめ、中学校に引き継ぎました。ご希望に応じて行っています。	今後ご希望に応じて引継ぎを行いますが、その内容についてはより意味あるものにしていけるよう工夫が必要と考えています。
	㉙	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		専門機関と、連絡を取り合ったりケース会議を行ったりする中で、支援や事業所の役割に関する助言をもらいました。	ご利用者様に応じて連携の形も様々なので、対応が難しい部分はあるが、研修などは積極的に参加していきたいです。
	㉚	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○			前例はありません。
	㉛	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○		参加していません。
	㉜	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			hugのマイページを利用し、支援終了後毎回様子をお伝えしています。	面談以外の場でも送迎時やHUGのコメント欄、LINEや電話等でのやりとりも大事にしています。

保護者への説明責任等	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		ペアトレ自体は行っていませんが、保護者の方がどんなストレスを抱え、どんな辛さを感じているのかということに、耳を傾ける姿勢を大切にしています。	保護者の方のお気持ちや、これまでの育児の経験を尊重しながら助言を行っています。
	㉕	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			管理者兼児童発達支援管理責任者が説明を行っています。
	㉖	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		モニタリング面談の際にお話を伺いさせていただいています。それ以外にもご希望があれば電話や面談で相談に応じています。	今後もきめ細やかな情報共有を心掛けます。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		これまでに2度、保護者会を開催しました。	コロナのため実施していません。
	㉘	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情に繋がりがりやすい状況を予め想定し、定期的に対応を振り返っていきます。	苦情対応の方法については契約時にご説明することに加え、相談室内に掲示しています。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		教室の活動の様子や目的をわかりやすく伝えるようにしています。	HPでブログを公開しています。
	㉚	個人情報に十分注意しているか	○		ロッカー、書庫、事務室は施錠できるようにしています。	今後も継続します。
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		少しでも気になる様子は保護者に伝えるようにしています。	今後はzoomのような映像での情報伝達も利用していけるようにします。
非常時等の対応	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナの影響もあり、実施していません。
	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		今年度とくに、コロナ対応についてはまめに周知するようにしました。	今後も継続します。
	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		今年度「3密」を避け、コロナの影響で縮小して実施しました。その分、防災教育の内容を工夫しました。	動画などを利用しながら、コロナの状況でも充実して訓練が行えるようにしていきます。
	㉟	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		啓発ポスターを作成し、虐待に該当する行為や通報先を事務室内に掲示しています。	令和4年度から、虐待防止委員会を月1回実施し、研修もより充実させていくようにします。
	㊱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束に関わる同意書は、契約時に取り交わしており、その際に理解・了承を得ています。また、そもそも身体拘束を行わなくてはいけない状況を作らないよう、環境設定や課題調整し、適切な関わり方を行っています。	今後も継続します。
	㊲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者の方より情報をいただき、全職員に共有しています。	今後も継続します。
	㊳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		新人研修の際に、ヒヤリハット事例集の共有を行います。また、今年度はケース会議でも議題に取り上げ、リスクマネジメントの意識を高められるようにしました。	今後も継続し、事例集の定期的な点検を行います。

○この「事業所向け放課後等デイサービス自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け放課後等デイサービス自己評価表（公表）

評価の実施時期 令和4年1月

公表：令和4年3月31日 事業所名：オレンジスクール小岩教室

保護者数（児童数）：42人（43人） 回収数：33人 割合78%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	7		・活動の様子を見ていないのでどちらでもない、としました。 ・十分なのでしょうが、少し狭いですね・・・（都内なのでしかたないですか）	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	30	3			
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	12	1	内部をじっくり見たことがないのでわかりません。	・①、③についてはコロナの状況を見て保護者会や見学会などを企画し周知できるようにします。
適切な 支援提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	30	2			
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	27	5	1	・コロナで難しいかもしれませんが、できれば課外活動もあるといいですね（お店で物を買う・電車に乗る等）	・今後、検討して参ります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要 4	18	不必要 11	障害のあるなしに限定することは良くないし、このご時世、感染などの心配もあるので。	
保護者への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	1			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	31	1		毎回のサービス提供記録も細かく丁寧に記載くださり、いつも大変分かって助かっています。	・保護者の皆様に記録を見ることを楽しみにしていただけるよう、内容やお写真が充実できるようにしていきます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	2			
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	必要 13	11	不必要 9	以前、参加しました。	・コロナの状況を見て、開催致します。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	7	1	苦情が今までないのではありません。	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	1			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	27	5	1		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	29	3			
非常時等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	31	2			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26	7			

満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	28	4	1	・情緒不安定なため、日によっては行きたくないことがあります。 ・大変楽しみにしています。	・日々、お子様を受け入れるための準備を行っていますが、「その日の状態」に合わせて柔軟に対応できるようにしております。指導時間内であっても指導員同士が情報共有し、連携して支援を行います。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	30	3		・季節の行事など、取り入れて頂けたらと思います。放課後なので、お腹がすいてしまうので、おやつも考えて頂けたらと思います。 ・オレンジスクールに通所してから家での学習も落ち着いてできるようになったと感じています。とても助かっています。 ・本人もわからないことは、オレンジスクールで聞けるということが安心と安定になっているようで、いつも大変感謝しております。特性に合わせた細やかなご指導をいつもありがとうございます。	・教室に来る目的や楽しみをお子様ご本人が持っていけるよう、また、保護者の方にも信頼して教室を利用していただけよう、今後も励んで参ります。

○この「保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

職員による自己評価

A 環境面

お子様がわかりやすく、ソーシャルディスタンスが取れるよう、机とマットの配置を工夫しています。

B 児童への支援内容

情緒特性、障害特性、認知特性、学力水準の観点からアセスメントを行い、支援計画を考えています。また、その日の状態に応じて柔軟な対応ができるよう、指導時間内の連携も重視して支援しました。

C 関係機関との連携

コロナのため、学校への訪問は思うようにできない部分がありました。昨年度同様、保護者の方も学校の様子がわからないとおっしゃる方が多く、引き続き課題です。

D 保護者への説明責任・信頼関係

電話や LINE、HUG での情報共有を行っています。

E 非常対応

感染対策や悪天候の際などの対応は、マニュアルに沿って都度周知しました。

前年度の改善事項

- ① 苦情対応の体制については契約時に説明、掲示してあるが周知されていなかった。
保護者の方がよく利用する相談室に苦情対応マニュアルを掲示しました。苦情がないので対応がわからない、というお声もありました。
- ② 避難訓練は行ってはいるが認知度が低かった。
防災教育、訓練、災害時の対応などブログやサービス提供記録に記載しました。

保護者による評価

A 環境面

・内部をじっくり見たことがないのでわかりません。

B 児童への支援内容

・オレンジスクールに通所してから家での学習も落ち着いてできるようになったと感じています。
・とても助かっています。
・学校でできなかったところも教えてもらえて、本人の安心感や安定につながっています。

C 事業所からの情報発信

・毎回のサービス提供記録も細かく丁寧に記載くださり、いつも大変分かやすく助かっています。

D 非常対応

・「わからない」というご意見があった。

事業所内での分析

【共通点】

・HUG のマイページからサービス提供記録を通して、利用状況を共有できている。

【相違点】

・教室の内部を見たことがないため、バリアフリーに配慮できているかどうか、環境整備がされているかどうかかわからないという意見があった。
・今年度はとくに感染症マニュアルを整備・運用を繰り返し行ったり、防災訓練や教育についても年 2 回以上行ったりしたが「非常時の対応」については「どちらでもない」と回答する方もいた。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・感染マニュアルは実際の状況に合わせて、再検討を重ね、より運用する意味のあるものとしてブラッシュアップしてこれた。
- ・今年度に関しても昨年度と同様、資格取得にチャレンジした職員が4名いた。そこで得た知識をケース会議で共有し、現場に生かすよう努力している。
- ・新入社員マニュアルを整備し、初任者研修の段階でヒヤリハット事例や感染マニュアル等の教育を行った。

事業所の改善点

- ・感染対策や悪天候の際などの対応は、都度周知していたが、保護者向けマニュアルとしてまとめ、わかりやすく周知する必要がある。
- ・新型コロナウイルスの感染状況を見て、保護者向けの説明会や父母会などを行う。

事業所の改善への取り組み

- ・感染対策や悪天候の際などの対応は、都度お知らせしていたが、保護者向けマニュアルとしてわかりやすく周知する必要がある。
→毎年、決められた時期に交付する。
- ・新型コロナウイルスの感染状況を見て、保護者向けの説明会や父母会などを行う。
→日々の支援についてだけでなく、教室環境や非常時の対応など、「どちらでもない」「いいえ」があった項目の部分を取り上げ、説明する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

昨年度から新型コロナウイルスへの対応が、欠かせないものとなりました。私たちはお子様方が安心して、楽しく、サービスを利用していただけるよう、「最善策は何か」ということを日々模索しながら支援に臨んでいます。こうして皆様からいただいた貴重なお声も、取り組みに反映し、次に生かせるよう来年度も励んで参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

評価の実施時期 令和4年1月

事業所名 オレンジスクール 小岩教室

担当者 管理者・加瀬ひとみ